

早稲田大学 大学院教育学研究科 出題意図および解答例

年 度	2026年度
試 験 日	2025年9月20日
研 究 科	教育学研究科
課 程	修士課程
専攻・コース等	学校教育専攻
入 試 制 度	一般・外国学生
試 験 科 目	専門科目

出題意図及び解答例（解答のポイント）

【注意事項】

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWebサイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。

※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

■出題意図

教育学、社会教育学、教育心理学および初等教育学のうち、志望する研究指導領域に関して、基礎的な知識および論理的に思考し説明できる力を評価・判定する。

■解答例（解答のポイント）

設問 I（教育学）

※問1・問2のどちらの問題も、特定の解答に誘導すると知識・思考力等を測ることが困難になるため、解答例は公開しない。

解答のポイント/評価のポイント

問 1

- (1) 日本の公立小学校における特質と課題について正しく理解し、各国の事例に基づき、比較教育学の観点から類似点と相違点が適切に説明されているかどうかを評価した。
- (2) 教育方法学に関する基礎的事項の一つを取り上げ、その意義と課題を論理的に説明できるかどうかを評価した。
- (3) 日本の学校教育の「教科」について、中学校と高等学校の制度的な違いの説明を求め、「教科」と「科目」の使い分けが適切になされているかどうかを評価した。
- (4) 日本教育史に関する重要事項の一つを取り上げ、その歴史的意義を正しく説明できるかどうかを評価した。
- (5) デューイの道徳論の特色について、西洋の伝統的・代表的な道徳論と適切に対比して論じているかを評価した。
- (6) ルソーの思想について基本的な理解をしたうえでこれを手がかりとして論理整合的な論述がなされているかを確認し、それを通じて論理的思考能力を評価した。
- (7) 学校経営をめぐる切実な課題を取り上げ、実効性のある解決策について先行研究の知見をふまえて論理的に説明できるかどうかを評価した。
- (8) 日本の地方自治体における市区町村立小中学校の教育行政について執行機関多元主義の観点から、戦後の制度変遷を正しく理解し、教育委員会の制度変遷について適切に論じられているかどうかを評価した。

問 2

教育学に関連した各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

設問Ⅱ（教育心理学）

※問 1・問 2 のどちらの問題も、特定の解答に誘導すると知識・思考力等を測ることが困難になるため、解答例は公開しない。

解答のポイント/評価のポイント

問 1

- (1) 特性因子理論について正しく理解し、わが国のキャリア支援における活用について適切に論じられているかどうかを評価した。
- (2) 児童期において獲得するとされる二次的信念について正しく理解し適切に論じられているかどうかを評価した。
- (3) 実践的研究を行う際に留意すべき項目を正しく理解し、研究デザイン、データの妥当性と信頼性、論理面から適切に論じられているかどうかを評価した。
- (4) 回帰分析について正しく理解し、適切に論じられているかどうかを評価した。
- (5) Maternal deprivationについて正しく理解し、これが後の対人関係における問題に影響するプロセスについて適切に論じられているかどうかを評価した。

問 2

教育心理学や関連領域についての(1)～(11)の各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

設問Ⅲ（初等教育学）

※問 1・問 2 のどちらの問題も、特定の解答に誘導すると知識・思考力等を測ることが困難になるため、解答例は公開しない。

解答のポイント/評価のポイント

問 1

- (1) 不登校問題の発生要因と非認知能力について正しく理解し、子供の非認知能力の育成に関して適切に論じられているかどうかを評価した。
- (2) 教科カリキュラムと経験カリキュラムについての相違点を正しく理解し、二つのカリキュラムの統合に関して適切に論じられているかどうかを評価した。
- (3) 今後の社会における美術教育が果たす役割について正しく理解し、自身が予想する社会展望をふまえた実践事例を適切に論じられているかどうかを評価した。
- (4) 科学教育における自然認識について正しく理解し、「ことば」だけに限定されない宣言的知識の特徴を、具体例を示しながら適切に論じられているかどうかを評価した。

(5)「子どもが主体的に学ぶこと」に関する教育学の研究知見や学習指導要領での見解について正しく理解し、「子どもが主体的に学ぶこと」のできる授業づくりで大切な要素を、具体例を挙げて適切に論じられているかどうかを評価した。

問 2

初等教育学に関連する教育学・心理学・教科教育学・教育方法学等に関連した(1)～(20)の各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

設問Ⅱ (教育社会学・社会教育学)

※いずれの問題も、特定の解答に誘導すると知識・思考力等を測ることが困難になるため、解答例は公開しない。

解答のポイント/評価のポイント

設問Ⅱ-1 (教育社会学・社会教育学)

問 1

進学率問題について、教育の需要と供給の両面からの構造的な分析を、日本社会の特質を踏まえて理解できているかどうかを評価した。

問 2

教育学に関連した(1)～(5)の各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

問 3

社会調査の方法について正しく理解し、適切に論じられているかどうかを評価した。

設問Ⅱ-2 (教育社会学・社会教育学)

問 1

リカレント教育が、国によって個人のための学びと社会を支える学びという異なる意味を持つことを把握し、その違いを踏まえて本質を理解できているかどうかを評価した。

問 2

教育学に関連した(1)～(5)の各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

問 3

生涯教育学に関連した(1)～(10)の各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

設問Ⅱ-3 (教育社会学・社会教育学)

問 1

教育の量的拡大と質的充実との関係の時代的变化を、教育政策の視点を踏まえて理解できているかどうかを評価した。

問 2

教育学に関連した(1)～(5)の各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

問 3

社会調査の方法について正しく理解し、適切に論じられているかどうかを評価した。

設問Ⅱ-4（教育社会学・社会教育学）

問 1

日本の社会教育施設の現状と課題について正しく理解し、適切に論じられているかどうかを評価した。

問 2

教育学に関連した(1)～(5)の各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

問 3

社会調査の方法について正しく理解し、適切に論じられているかどうかを評価した。

問 4

社会教育学に関連した(1)～(8)の各項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説することができるかどうかを評価した。

以 上